

9	午 前
---	-----

(10時00分～12時00分)

問 題

- ◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午前の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、解答用紙に鉛筆又はシャープペンシルを使用して、左の欄に氏名を記入してください。次に、右の欄に受験票に記載されている受験番号を記入し、受験番号を塗りつぶしてください。

(例) 受験番号 1A-9999 の場合

氏 名	心理 花子			受験 番号	1	A	-	9	9	9	9
	●	●			①	①	①	①			
				②	②	②	②	②	②	②	②
				③	③	③	③	③	③	③	③
				④	④	④	④	④	④	④	④
				⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
				⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
				⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
				⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
				●	●	●	●	●	●	●	●

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 次のうち海に面していない県について、正しいものを 1 つ選べ。

- ① 青森県
- ② 岐阜県
- ③ 兵庫県
- ④ 宮崎県

正解は②であるから解答用紙の②をマークすればよい。

1	①	②	③	④
		↓		
1	①	●	③	④

【例2】我が国における現在の元号として、正しいものを1つ選べ。

- ① 寛永 正解は⑤であるから解答用紙の⑤をマークすればよい。
- ② 元禄
- ③ 昭和
- ④ 大化
- ⑤ 令和

2	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

2	①	②	③	④	●
---	---	---	---	---	---

【例3】次のうち県庁所在地となっている都市名について、正しいものを2つ選べ。

- ① 川崎市 正解は③と④であるから解答用紙の③と④をマークすればよい。
- ② 倉敷市
- ③ 仙台市
- ④ 高松市
- ⑤ 北九州市

3	①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---	---

↓

3	①	②	●	●	⑤
---	---	---	---	---	---

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入はHBの鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●~~○~~~~◎~~~~⊙~~~~⦿~~ (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。
5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問1 P. Boss が提唱した概念で、認知症などにより、以前のその人とすっかり様子が変わり、身体的には存在しているが心理的に存在していないと、家族などが苦痛に感じる状態を表す概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 予期悲嘆
- ② 複雑性悲嘆
- ③ 外的対象喪失
- ④ あいまいな喪失
- ⑤ 公認されない悲嘆

問2 公認心理師による反省的実践の中核となる考え方を1つ選べ。

- ① クライエントの要望に従って支援する。
- ② クライエントの内省力を基盤として支援する。
- ③ 科学的知見に基づいて、既存の解決法に沿って支援する。
- ④ スーパーバイザーの指導に従って自身の支援方法を修正する。
- ⑤ 自身の問題把握や解決の仕方を振り返り、検討しながら支援する。

問3 精神科リエゾンチーム加算において、公認心理師の他にチーム構成要件を満たす職種として、適切なものを1つ選べ。

- ① 薬剤師
- ② 言語聴覚士
- ③ 臨床検査技師
- ④ 臨床工学技士
- ⑤ 診療放射線技師

問4 G. Engel が提案した、従来の医学モデルの考え方を補完し、人間の健康や疾患を多面的に理解するための枠組みとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 成長モデル
- ② 認知行動モデル
- ③ 多理論統合モデル
- ④ 生物心理社会モデル
- ⑤ 素因ストレスモデル

問5 最初に提示された数値や直観的に判断した値を基準として用い、その数値を踏まえて推定を行う方略に該当するものを1つ選べ。

- ① 再認ヒューリスティック
- ② 代表性ヒューリスティック
- ③ 係留と調整ヒューリスティック
- ④ 利用可能性ヒューリスティック
- ⑤ シミュレーション・ヒューリスティック

問6 一貫して観察される行動特徴やそのまとまりをパーソナリティの構成要素とみなし、それらを組み合わせてパーソナリティを記述する考え方として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 気質論
- ② 状況論
- ③ 特性論
- ④ 類型論
- ⑤ 相互作用論

問7 探索的因子分析において、各項目に対する各共通因子の影響の程度を表す指標として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 共通性
- ② 固有値
- ③ 因子寄与
- ④ 因子負荷
- ⑤ 因子間相関

問8 認知心理学において、正しい答えを出せるように決められた方法や手順を表す概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① スクリプト
- ② モデリング
- ③ アルゴリズム
- ④ フレーミング
- ⑤ プロトタイプ

問9 言語によるコミュニケーションの発達の過程について、以下の中で、生じる順番が最後のものを1つ選べ。

- ① 語彙が急増する。
- ② 象徴機能が獲得される。
- ③ 三項関係の理解ができるようになる。
- ④ 発話語数が増え、文法を扱えるようになる。
- ⑤ 母語の言葉を聞き分けるのに不要な音素の識別ができなくなる。

問10 R. Pekrun らが示した達成関連感情のうち、活動関連感情に該当するものを1つ選べ。

- ① 感謝
- ② 希望
- ③ 楽しさ
- ④ 安らぎ
- ⑤ 誇らしさ

問11 個人の特徴が示されたカードを、参加者が自分自身への当てはまり具合に応じて、あらかじめ設定された区分に分類する個人特性の測定手法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① KJ 法
- ② Q 分類法
- ③ エゴグラム
- ④ 評定尺度法
- ⑤ 語彙アプローチ

問12 不随意運動の抑制や筋緊張の調整、抗精神病薬による錐体外路症状などに関与する脳の領域として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 脳幹
- ② 帯状回
- ③ 島皮質
- ④ 大脳皮質
- ⑤ 大脳基底核

問13 U. Bronfenbrenner が提唱した生態学的システム論において、子どもを中心とした場合、子どもの家庭と在籍する幼稚園の相互関係を表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① メゾシステム
- ② エクソシステム
- ③ クロノシステム
- ④ マクロシステム
- ⑤ ミクロシステム

問14 生後間もなくから、子どもが養育者の言葉かけに応じて身体を動かしたり、子どもの声に養育者がほほ笑んだりする同調的な相互作用を表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 共同注意
- ② 情動伝染
- ③ 社会的参照
- ④ マザリーズ
- ⑤ エントレインメント

問15 縦断的研究で用いられる同一年代で生まれた集団など、ある特性を共有する集団を表す用語として、正しいものを1つ選べ。

- ① 内集団
- ② コホート
- ③ 準拠集団
- ④ アーティファクト
- ⑤ フォーカス・グループ

問16 クライエントの負担と検査結果の信頼性を考慮し、テストバッテリーの実施を控えるべき状態として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 認知症の初期
- ② うつ病の回復期
- ③ 不安障害の寛解期
- ④ 統合失調症の再燃期
- ⑤ 高次脳機能障害の亜急性期

問17 うつ病が疑われる児童の症状評価のために用いる心理検査として、適切なものを1つ選べ。

- ① CARS
- ② CBCL
- ③ DSRS-C
- ④ KABC-II
- ⑤ TSCC

問18 認知療法で、クライアントの問題が生じる状況、その状況における自動思考、感情、行動などの関連についての総合的なアセスメントを表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 課題分析
- ② 機能分析
- ③ 認知的評価
- ④ 認知的概念化
- ⑤ 相互作用過程分析

問19 人に備わる基本的動因として、自らの生来の可能性を建設的な方向に成就しようとする実現傾向を重視する心理療法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 内観療法
- ② 森田療法
- ③ 臨床動作法
- ④ ログセラピー
- ⑤ クライエント中心療法

問20 M. Csikszentmihalyi が提唱した、内発的動機づけが頂点に達し、活動に没頭することで生じる最適状態の体験を表す概念として、正しいものを1つ選べ。

- ① フロー
- ② レジリエンス
- ③ ウェルビーイング
- ④ エンゲイジメント
- ⑤ マインドフルネス

問21 E. H. Erikson のライフサイクル論に基づく実践において、自我同一性の確立を課題とする青年とのカウンセリングを行う際に注目すべき事柄として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自発的な空想や遊び
- ② 学業における有能感の獲得
- ③ 社会的な活動における役割実験
- ④ 基本的養育者との愛着関係の形成
- ⑤ パートナーとの親密な関係づくり

問22 家族療法において、セラピストが個々の家族成員の味方になり、その思いを認め、公平に接することを表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 取り入れ
- ② 平行交流
- ③ ジョイニング
- ④ エナクトメント
- ⑤ 多方向への肩入れ

問23 がんの末期や慢性心不全、慢性腎不全などの患者にみられ、体重減少、食欲不振及び骨格筋量の減少を特徴とし、代謝の異常を伴う状態を表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① フレイル
- ② アカラシア
- ③ カヘキシア
- ④ ミオパチー
- ⑤ カタレプシー

問24 アルコール依存症者のとるべき責任を肩代わりし、結果として依存を助長することになる家族や関係者を表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① サバイバー
- ② イネイブラー
- ③ ゲートキーパー
- ④ アダルトチルドレン
- ⑤ IP<Identified Patient>

問25 1980年に世界保健機関(WHO)が提唱した、障害を「機能障害」、
「能力障害」及び「社会的不利」の3次元で捉える枠組みとして、適切なもの
を1つ選べ。

- ① 国際障害分類
- ② 国際生活機能分類
- ③ 障害の医学モデル
- ④ 障害の社会モデル
- ⑤ リカバリーモデル

問26 社会福祉六法に含まれる法律を1つ選べ。

- ① 医療法
- ② 介護保険法
- ③ 生活保護法
- ④ 母体保護法
- ⑤ 障害者基本法

問27 L. Y. Abramson らが提唱した改訂学習性無力感理論において、無力感が最も高まりやすいとされる失敗体験の捉え方の特徴として、適切なものを1つ選べ。

- ① 内的 —— 安定的 —— 全体的
- ② 内的 —— 不安定的 —— 全体的
- ③ 外的 —— 安定的 —— 全体的
- ④ 外的 —— 安定的 —— 特定の
- ⑤ 外的 —— 不安定的 —— 特定の

問28 不登校の児童生徒の実態に配慮し、特別の教育課程を編成して教育を実施することができる教育関連施設として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 通級指導教室
- ② 特別支援学校
- ③ 教育支援センター
- ④ 教育相談センター
- ⑤ 学びの多様化学校〈不登校特例校〉

問29 保護観察所と連携し、更生保護を支え、非行のある少年に身近な存在として接し、話し相手になったり学習支援やスポーツをしたりするなど、同じ目の高さで一緒に考え、学び合うことを通じて、少年の立ち直りを支援するボランティア活動を行う人又は団体を表す用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① BBS 会
- ② 調停委員
- ③ 民生委員
- ④ 更生保護女性会
- ⑤ 社会福祉協議会

問30 2018年(平成30年)に成立した、働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律(働き方改革関連法)に規定されているものを1つ選べ。

- ① 子の看護休暇
- ② 地域別最低賃金の改定手続
- ③ ストレスチェック制度の義務化
- ④ 規定日数の年次有給休暇の確実な取得
- ⑤ 事業主によるパワーハラスメント防止対策の義務化

問31 三半規管の障害によって影響を受ける感覚として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 嗅覚
- ② 聴覚
- ③ 味覚
- ④ 温痛覚
- ⑤ 平衡覚

問32 喫煙習慣を背景に中高年で発症し、運動時の息切れが主症状であり、うつ病の併存が多い疾患として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 肺結核
- ② 気管支喘息
- ③ 全般不安症
- ④ 過換気症候群
- ⑤ 慢性閉塞性肺疾患

問33 自己免疫疾患として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 逆流性食道炎
- ② 鉄欠乏性貧血
- ③ ハンチントン病
- ④ 本態性高血圧症
- ⑤ 全身性エリテマトーデス〈SLE〉

問34 覚醒時の脳波に類似した低振幅速波が脳波上で優勢となり、夢をみることが多い睡眠段階として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① レム睡眠
- ② ノンレム睡眠(第Ⅰ期)
- ③ ノンレム睡眠(第Ⅱ期)
- ④ ノンレム睡眠(第Ⅲ期)
- ⑤ ノンレム睡眠(第Ⅳ期)

問35 ベンゾジアゼピン系抗不安薬を服用している高齢者の介護において、注意すべき有害事象を1つ選べ。

- ① 黄疸
- ② 振戦
- ③ 転倒
- ④ 頻尿
- ⑤ 胃潰瘍

問36 抗コリン作用を有する薬剤の使用に注意が必要とされ、激しい目や頭の痛みの発作を特徴とする眼疾患として、適切なものを1つ選べ。

- ① 角膜炎
- ② 結膜炎
- ③ 飛蚊症
- ④ 緑内障
- ⑤ 網膜剥離

問37 児童福祉法における「児童」の定義として、正しいものを1つ選べ。

- ① 満13歳に満たない者
- ② 満14歳に満たない者
- ③ 満15歳に満たない者
- ④ 満18歳に満たない者
- ⑤ 満20歳に満たない者

問38 少年院において、少年に対する生活指導を担当する職種として、正しいものを1つ選べ。

- ① 刑務官
- ② 検察官
- ③ 法務教官
- ④ 保護観察官
- ⑤ 家庭裁判所調査官

問39 労働基準法に規定されている内容として、正しいものを1つ選べ。

- ① 受動喫煙の防止
- ② 病者の就業禁止
- ③ 衛生委員会の設置
- ④ 使用者の安全配慮義務
- ⑤ 時間外労働時間の上限規制

問40 オプトアウト同意に基づく研究を計画する場合に必須となる要件を1つ選べ。

- ① 希望する研究対象者に報酬を支払う。
- ② 全ての研究対象者に研究結果を開示する。
- ③ 全ての研究対象者から書面による同意を得る。
- ④ 全ての研究対象者に参加を拒否する機会を保障する。
- ⑤ 未成年の研究対象者から本人と保護者の同意を得る。

問41 特別支援教育における、支援のための構造化の考え方を踏まえた対応の例に該当しないものを1つ選べ。

- ① 活動に応じて、マットや机などで空間を分ける。
- ② 1日や週のスケジュールを見えやすいところに掲示する。
- ③ 議論の場を構築し、できるだけ多くのアイデアを出すように促す。
- ④ コミュニケーション場面における登場人物の会話や思考の内容を、イラストと吹き出しで示す。
- ⑤ 登校したら、教科書を机にしまう、給食袋をロッカーに掛けるなど、一連の流れを手順化する。

問42 応用行動分析において、行動の機能に該当しないものを1つ選べ。

- ① 他者の注目の獲得
- ② 要求した事物の獲得
- ③ 嫌な場面や活動の回避
- ④ 感覚・自己刺激の随伴
- ⑤ 興味のある活動の開始

問43 A. Bandura が提唱した自己効力感〈self-efficacy〉の認識に影響を与える4つの要因に該当しないものを1つ選べ。

- ① 代理体験
- ② 達成体験
- ③ 言語的説得
- ④ 情動的喚起
- ⑤ 機能的自律性

問44 経営環境の変化に適応していくための組織変革に不可欠とされる、変革型リーダーシップの構成要素に該当しないものを1つ選べ。

- ① 知的刺激
- ② カリスマ性
- ③ 個別配慮性
- ④ 士気を鼓舞する動機づけ
- ⑤ フォロワーとの資源の交換

問45 児童の権利に関する条約〈子どもの権利条約〉における4つの一般原則に該当しないものを1つ選べ。

- ① 差別の禁止
- ② 休み、遊ぶ権利
- ③ 子どもの意見の尊重
- ④ 子どもの最善の利益
- ⑤ 生命、生存及び発達に対する権利

問46 論文内に t 検定の結果として、「 $t(133)=2.788, p=.013, d=1.359$ 」と記載されていた。この記述に示されている情報を1つ選べ。

- ① 効果量
- ② 相関係数
- ③ 標準偏差
- ④ 有意水準

問47 古典的恐怖条件づけの手續の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 特定の自発的行動への、恐怖反応を誘発する刺激の随伴
- ② 特定の自発的行動に随伴した、恐怖反応を誘発する刺激の除去
- ③ 回避や対処が不可能な形での、恐怖反応を誘発する刺激の繰り返し提示
- ④ もともとは恐怖反応を誘発しない刺激への、恐怖反応を誘発する刺激の随伴

問48 交通事故などで損傷を受けた場合、遂行機能障害を生じる可能性が高い脳の領野として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 後頭連合野
- ② 前頭連合野
- ③ 側頭連合野
- ④ 頭頂連合野

問49 子どもに司法面接を行う際の留意点として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 答えやすいように、複数の選択肢を提示して選ばせる。
- ② 面接者自身の表情や声のトーンに配慮し、中立的に聞く。
- ③ 出来事の背景を理解するために、「なぜそうなったか」を尋ねる。
- ④ 沈黙が生じた場合、別の質問をして会話が途切れないようにする。

問50 日常生活及び社会生活全般に係る分野が広く対象となり、合理的配慮の提供と不当な差別的取扱いの禁止を義務付けている法律を1つ選べ。

- ① 児童福祉法
- ② 知的障害者福祉法
- ③ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律〈障害者差別解消法〉
- ④ 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律〈教育機会確保法〉

問51 2021年(令和3年)に改正された少年法によって、18歳及び19歳の少年について、原則検察官送致とする対象事件が拡大されるなど、他の年齢の少年と一部異なる取扱いをする特例が定められた。この法律に基づく18歳及び19歳の少年の呼称として、正しいものを1つ選べ。

- ① 虞犯少年
- ② 触法少年
- ③ 特定少年
- ④ 犯罪少年

問52 生徒指導提要(令和4年改訂、文部科学省)が示す、いじめ対応の重層的支援構造のうち、自校のいじめに関する基本方針の理解を深めるための、道徳科や学級・ホームルーム活動等における取組に該当するものを1つ選べ。

- ① 課題早期発見対応
- ② 課題未然防止教育
- ③ 発達支持的生徒指導
- ④ 困難課題対応的生徒指導

問53 糖尿病の3大合併症に含まれないものを1つ選べ。

- ① 腎症
- ② 網膜症
- ③ 神経障害
- ④ 骨粗しょう症

問54 休職者の復職のためにリワークプログラムを実施している公的機関に該当するものを2つ選べ。

- ① 労働基準監督署
- ② 精神保健福祉センター
- ③ 地域産業保健センター
- ④ 地域包括支援センター
- ⑤ 地域障害者職業センター

問55 風景構成法を実施する際、被検査者が行うことを2つ選べ。

- ① クレヨン等で彩色する。
- ② 人や動物を描き入れる。
- ③ 画用紙にサインペンで枠を書く。
- ④ 構成するアイテムを描く順番を決める。
- ⑤ 開始時に風景を構成するアイテムを選ぶ。

問56 E. S. Bordin の作業同盟に含まれる合意の内容として、適切なものを2つ選べ。

- ① 課題
- ② 時間
- ③ 場所
- ④ 目的
- ⑤ 料金

問57 我が国の福祉制度において、行政機関による措置に基づいて提供されるものを2つ選べ。

- ① 居宅介護
- ② 里親委託
- ③ 保育所の利用
- ④ 児童養護施設の入所
- ⑤ 母子生活支援施設の入所

問58 自立した生活を送るために必要な活動〈ADL〉のうち、手段的日常生活動作〈IADL〉に該当する項目を2つ選べ。

- ① 洗濯
- ② 入浴
- ③ 着脱衣
- ④ 階段昇降
- ⑤ 食事の準備

問59 28歳の女性A、会社員。1年ほど前、Aは特別なストレスはないものの、仕事の意欲を失い、転職を考えていた。しかし、入社時から業務の指導や相談に応じていた上司Bの推薦によって、半年前、新規プロジェクトのチームリーダーに抜てきされた。Aは当初張り切っていたが、プロジェクトは難航し、Aは集中困難や不眠など、心身の不調に陥った。このため、3か月前、Bは自らAのチームに加わった。BはAからチームリーダーとしての苦勞とチームが抱える問題を聞き取り、チーム運営に関する情報を提供した。その結果、Aの体調も回復し、積極的に仕事に取り組むようになり、プロジェクトも動き始めた。

Aの変化を説明するために用いられる仮説やモデルとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 緩衝仮説
- ② 接触仮説
- ③ 感情混入モデル
- ④ 自己評価維持モデル
- ⑤ 精緻化見込みモデル

問60 30歳の男性A、出版会社に勤務。Aは、幼少期から本が好きで、作家になることを夢見ていた。大学卒業後もアルバイトをしながら執筆活動が続けていたが、3年前に作家の夢を断念し、出版会社に就職した。当初は慣れない業務に戸惑い、上司の指摘に落ち込むことも多かったが、少しずつ慣れ、編集作業を一人で任されるようになってきた。最近では、自ら特集記事の企画提案を行うなど主体的に仕事に取り組む姿勢がみられるようになり、自分の役割を果たしていると実感している。

D. E. Super のキャリア発達理論に基づく A の段階として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 維持期
- ② 解放期
- ③ 確立期
- ④ 成長期
- ⑤ 探索期

問61 25歳の女性A、大学院生。2か月前から、突発的な強い不安感と、動悸や息苦しさ、胸部圧迫感及び四肢のしびれを伴う発作が生じていると訴え、精神科クリニックを受診した。Aによると、発作は講義室や図書館、自宅など、状況を問わず起こる。突然始まり、10分間程度で自然に治まる。発作中は「このまま気を失うのではないか」という強い不安を感じ、発作後には疲労感が残る。発作への恐怖から外出を控えるようになり、大学へ通うことが難しくなっている。修士論文の提出期限が迫っており、データ解析の遅れに強いプレッシャーも感じているという。

Aの病態評価のために行う心理検査として、最も優先度が高いものを1つ選べ。

- ① CAPS
- ② HAM-D
- ③ LSAS-J
- ④ PDSS
- ⑤ STAI

問62 20歳の男性A、大学2年生。母親Bと精神科クリニックを受診した。Aによると、約1年前から、講義中に「前の座席の学生の頭を殴ってしまうのではないか」という考えが繰り返し浮かぶようになった。殴ったりはしないと分かっているにもかかわらず、不安で仕方がなく、気を紛らわせるため、つい爪をかんでしまう。また、3か月ほど前、ホームで電車を待っていると、目の前の人を線路に突き落としそうな気がして、強い不安に襲われた。その日以来、電車に乗る際は、Bに同行を求め、「僕は何もしないよね」と何度も確認するようになっており、通学にも大きな支障が出ているという。

Aの状況から考えられる病態を改善する効果が認められている技法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 認知再構成法
- ② 曝露反応妨害法
- ③ 習慣逆転療法(HRT)
- ④ 持続エクスポージャー法
- ⑤ 眼球運動による脱感作と再処理法(EMDR)

問63 26歳の女性A、小学校教師。授業中の私語が多いことを悩んでいた。AがスクールカウンセラーBに相談したところ、学年主任と共に対応方法を検討することになった。Aによると、児童が私語をするたびに叱責しているが、私語が止むのは一瞬で、すぐにまた始まるという。Bも加わっての検討の結果、関係者への適切な倫理的配慮を行った上で実施する、次の取組を計画した。これによると、最初の1週間は1日当たりの「叱責回数」と「私語の回数」を記録する。次の1週間は、Aが叱責を控え、私語が止むまで黙って待ち、同様の記録を行い、私語に対する効果を検証する。

このような実践を説明する枠組みとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 経験サンプリング法
- ② ランダム化比較試験
- ③ ケースコントロール研究
- ④ トランスレーショナル研究
- ⑤ シングルケース実験デザイン

問64 10歳の女兒A、小学4年生。登校しぶりを心配した母親Bに伴われて教育相談室を訪れた。Bによると、Aは学習意欲が高く、以前は学校を楽しんでいたが、1か月ほど前から朝になると腹痛や頭痛を訴えることが増えている。家庭ではBを手伝い、衣類や食器を整然と並べることを好む。また、家族の予定が変わると不安になり、繰り返し確認することもある。元来、食べ物の好き嫌いは多かったが、3か月ほど前、給食で苦手な食材を友達から無理に食べさせられたことをきっかけに、食べ物全般への拒否感が出現した。その後、匂いや食感に敏感になり、食事の量が減少し、体重も低下しているという。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① うつ病
- ② 強迫症
- ③ 社交不安症
- ④ 神経性やせ症
- ⑤ 回避・制限性食物摂取症

問65 35歳の男性A、システムエンジニア。朝の起床がつらく、疲労感が抜けないと訴えて内科クリニックを受診した。Aによると、納期に追われ、深夜まで仕事をすることが多い。就寝時間が遅くなっているにもかかわらず、寝ようとしても眠れない。このため、会社の始業時間に間に合うように起床することが難しくなっている。朝起きても熟睡感がなく、身体がだるい。日中も強い眠気があり、会議に集中できなかつたり、車の運転中に危険を感じたりする。仕事のパフォーマンスも低下し、上司から注意を受けることが増えている。週末は昼過ぎまで寝てしまい、何もできないまま終わってしまうという。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① うつ病
- ② 適応障害
- ③ 特発性過眠症
- ④ パラソムニア
- ⑤ 概日リズム睡眠・覚醒障害

問66 21歳の女性A、大学生。半年ほど前、親しい友人Bから「ときどき、話している相手がAじゃないように感じる」と言われた。それ以来、Bとの関係が次第にぎくしゃくしてきたことが気になり、大学の学生相談室を訪れた。Aによると、以前、気が付くと見知らぬカフェで見覚えのない人と話しており、パニックになったことがある。その際、財布の中には立ち寄った覚えのない店のレシートが入っており、買い物リストの筆跡も自分とは異なっていたという。面談室では、声のトーンや話し方が別人のように急変する場面があったが、Aはそのことを後で説明されても思い出せず、混乱していた。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① てんかん
- ② 解離性健忘
- ③ 統合失調症
- ④ 一過性全健忘
- ⑤ 解離性同一症

問67 32歳の女性A。第一子Bを出産して12日後、様子の変化を心配した夫Cに連れられて、分娩した産科クリニックを受診した。CによるとAは、退院直後は穏やかであったが、数日前から、急に奇異な言動がみられるようになった。「赤ちゃんがいなくなった」と叫んで家の外に飛び出したこともある。Cが声をかけると、Aは、「赤ちゃんに申し訳ない」、「赤ちゃんが死んでしまう」と涙を流しながら訴えた。食事も摂らず、夜も眠っていない。日中はBに触れようとせず、「自分は母親ではない」と繰り返すという。医師による診察中、Aは怯えた様子を見せたり、診察室から逃げ出そうとしたりした。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 適応障害
- ② 産後うつ病
- ③ 統合失調症
- ④ 産じょく期精神病
- ⑤ マタニティー・ブルーズ

問68 70歳の男性A、元会社員。定年退職後も嘱託として働いている。

最近、元気がなくなったことを心配した妻Bと共に、精神科クリニックを受診した。Bによると、6か月ほど前から口数が減り、身体が動くにもかかわらず、趣味の庭仕事にも関心を示さなくなった。Bが誘っても、Aは「また今度」とだけ話し、興味を失っている様子である。たまに庭仕事に出てきても段取りが悪い。糖尿病の服薬管理や金銭管理は自立できているが、通院日を間違えることがあるという。診察室でAは、「近頃、物忘れが多くなったので、メモ帳が欠かせなくなりました」と心配そうに語る。夜は眠れており、食欲も変わらないという。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① うつ病
- ② 軽度認知障害
- ③ 持続性抑うつ障害
- ④ 前頭側頭型認知症
- ⑤ レヴィ小体型認知症

問69 6歳の男児A、保育園年長児。父親は所在不明で母親Bと二人暮らしである。Aの発育は順調であったが、乳幼児健康診査時に、Bは「育児書どおりにできない」と泣いた。生真面目な性分で自責感が認められたため、保健師が粘り強く家庭訪問をして医療機関につなぎ、公認心理師Cがほどよい育児の大切さを繰り返し伝えた。Aは年齢相応に育ったが、就学が近づくと、Bは小学校時代の自身のいじめ被害を語り出した。Aの卒園と就学への不安を訴え、就学時健康診断を欠席し、Aの登園も滞りがちになった。CはBの思いを聴きつつ、就学予定校への事前相談を提案したが、Bは拒否した。

このような状況でAとBの支援を検討する場として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 地域ケア会議
- ② 教育支援委員会
- ③ 自立支援協議会
- ④ 地域連携推進会議
- ⑤ 要保護児童対策地域協議会

問70 62歳の男性A、86歳の母親Bと二人暮らし。Aは、同じく高齢の親と同居している友人に誘われ、自宅近くに来た認知症カフェを訪れた。スタッフCが家族の近況について尋ねると、Aは「Bは元気にしており、要介護認定はまだ受けていない」と語った。一方で、気がかりなこととして、1年ほど前からBは、火を点けたままで鍋を放置したり、財布や鍵を無くしたりすることが少しずつ増えている。また、Aが物忘れを指摘すると、「そんなことはない」と怒り出し、けんかになることもある。食事や入浴は、現時点では自立しているという。

CがAに提案すべきサービスや機関として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 特別養護老人ホーム
- ② 地域包括支援センター
- ③ 小規模多機能型居宅介護
- ④ 訪問リハビリテーション
- ⑤ 介護予防通所リハビリテーション

問71 15歳の女子A、中学3年生。担任教師の勧めで、母親と共に教育相談センターに来談した。Aは小学生の頃から、テストの点は常に悪く、身支度に時間を要して遅刻が多かったが、明るい性格で、学校生活に問題はなかった。中学生になり、バレーボール部に所属した。Aは当初、フォーメーションの理解に苦労したが、優れた身体能力を活かし、チームに貢献した。高校でもバレーボールを続けることを希望している。一方で、部内で金銭の不適切な貸借が判明した際、Aだけが損をしていることに気付いていなかったことがある。全ての科目の成績は学年最下位付近で低迷が続いている。

Aの状態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 限局性学習症
- ② 軽度知的発達症
- ③ 高次脳機能障害
- ④ 注意欠如多動症
- ⑤ 自閉スペクトラム症

問72 6歳の男児A、小学1年生。入学時から授業中に離席したり、周囲の児童に大きな声で話しかけたりすることが目立ち、授業の進行を妨げる状態が続いている。担任教師Bは、その都度注意をしていたが、Aは、にやりとするだけで改善が認められなかったため、スクールカウンセラーCに相談した。Cによる観察では、Aは注意の持続が難しく、授業中、突然離席することが多い一方で、座って課題に取り組む時間も確認された。また、Aは自分の関心がある活動には集中できるが、こだわりが強く、一部のおもちゃ以外、興味を持たないものにほとんど反応しない傾向も認められた。

CがBに提案する、Aへの支援法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① Aが離席した際には、集団のルールをAと確認する。
- ② Aが集中できなかった課題の内容を記録し、保護者に伝達する。
- ③ Aの離席行動について記録を取り、授業後にAと一緒に行動を振り返る。
- ④ Aが座って課題に取り組んでいるとき、その場で「いいね」と声かけを行う。
- ⑤ Aと授業中は離席しないよう約束し、離席しなかった日は下校時にスタンプを与える。

問73 15歳の男子A、中学3年生。数学の授業内容は理解できるが、テストでケアレスミスが多いことを気にしていた。教師がいくつかの学習方略を教えたところ、Aは「今月中に、毎週の小テストでケアレスミスを1つ以下にする」という目標を自ら設定し、問題を解くときには「注意すべき箇所に印を付ける」、「必ず検算する」という方略を用いることに決めた。毎日の宿題でもそれらの方略を用いるよう意識した。毎週の小テスト後、ケアレスミスの数を数え、どこでミスをしたかを自ら確認し、学習計画を見直しながら、意欲を維持している。

このAの取組の背景となる心理学概念として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 制御焦点
- ② 潜在学習
- ③ 発見学習
- ④ 自己調整学習
- ⑤ アンダーマイニング効果

問74 30歳の女性A、会社員。ジムで知り合った男性Bと2年間交際していた。しかし、半年前、妻と子どもを大切にしたいという理由で、Bから一方的に別れを告げられた。Bが既婚者であることを知らされていなかったAは激怒し、その直後から、SNSにBの誹謗中傷を執ように投稿するようになった。さらに、Bの自宅を突き止め、火を放とうとしたところを発見され、放火未遂の容疑で逮捕・起訴された。取り調べに対しAは、「私をだましたBを許せず、Bの幸せを壊してやりたかった」と語った。Aは以前にも恋愛問題でトラブルを起こしたことがある。

Aの情状鑑定を依頼された公認心理師がテストバッテリーに含めるべき心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① TEG
- ② CAPS
- ③ P-F スタディ
- ④ Vineland-II
- ⑤ ベンダー・ゲシュタルト検査

問75 33歳の男性A、会社員。糖尿病と高血圧の治療で内科クリニックに通院中である。Aは初診の際、ぶっきらぼうな態度に終始したが、主治医との関係が深まるにつれて、少しずつ自らの過去について語り始めた。それによると、Aの両親は不仲で、幼少期は常に父親の虐待を受けていた。中学3年生のとき、両親が離婚し、中学校卒業後、非行集団に加わった。21歳のときに強盗致傷容疑で逮捕され、有罪判決を受け、6年間服役した。しかし、出所後、保護司の支援を受け、職業訓練校でプログラミングを学んだ。現在は、保護司の知人に誘われ、小さなベンチャー企業に勤務している。

この事例の背景を説明する用語として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 直線的因果律
- ② 社会的比較理論
- ③ 小児期逆境体験
- ④ 家族ホメオスタシス
- ⑤ ストレス脆弱性モデル

問76 28歳の女性A、会社員。仕事に集中できなくなったと訴え、心療内科クリニックを受診した。Aは半年前に配置転換があり、多忙でストレスの多い部署に移った。その頃から、頭痛が次第に増えた。2か月前から業務中に注意が散漫になり、ミスが多くなっている。頭痛は週末に多い。右側頭部に強い拍動性の痛みがあり、吐き気を伴っている。市販の鎮痛薬を服用しているが、十分な効果は得られていない。最近、頭痛の頻度が週2回から3回に増え、仕事を休むこともあった。Aは、「営業成績が下がるのでは」と不安を抱え、夜眠れないこともあるという。神経学的検査で異常は認められなかった。

Aの病態の理解として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① うつ病
- ② 片頭痛
- ③ 群発頭痛
- ④ 緊張型頭痛
- ⑤ 全般不安症

問77 35歳の女性A、事務職。Aと上司Bは、健康管理室の公認心理師Cによる職場復帰後のフォローアップを受けている。Aは真面目で、Bの信頼も厚く、新しい業務を任されていた。半年前から、時間内に仕事が終わらないなど業務が過重になり、不眠と抑うつ感が出現し、うつ病の診断で、3か月間休業した。症状の改善がみられたため、時間外労働を禁止する就業制限を行って職場復帰をした。Aによると、職場復帰後、1週間ほどは問題がなかったが、再び不眠が出現したという。

この段階におけるCの対応として、適切でないものを1つ選べ。

- ① Bに、Aの勤務状況や業務遂行能力について尋ねる。
- ② Aに、主治医と相談して再休職の手続きをとるように勧める。
- ③ Bに、職場の同僚に過度な負担がかかっているかを尋ねる。
- ④ Bに、職場復帰支援プランが計画通りに実施されているかを確認する。
- ⑤ Aに、病状や今後の見通しについて、主治医からどのように聞いているかを尋ねる。

